

「災害時の地域福祉を支える ～サービス種別を超えた連携を考える～」

平成25年6月1日（土）

【フォーラム】 14時30分～17時30分／福祉プラザさくら川（東京都港区新橋6丁目19番2号）
【交流意見交換会】 18時00分～19時30分

認定特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバードは、災害時における要援護者支援を、あらゆる角度から具体的に検討し、迅速かつ適切に機能するしくみづくりのための活動を続けています。

この度は、研修・啓発事業として実施している「研修フォーラム」のご案内をさせていただきます。

今回のテーマは、「災害時の地域福祉を支える」です。

災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバードが提案する災害時要援護者支援は、被災施設を救うことはもちろんですが、地域全体を救うことを目的とするものです。災害時に支援を必要とするのは高齢者だけではありません。地域を支えるためには、障害を持つ方、児童、妊婦、外国人等も視野に入れた検討が必要です。

今回は、地域で暮らすさまざまな要援護者の方々の現状と課題を、茨城大学地域総合研究所の有賀絵理先生にお話しいただきます。地域福祉という視点で災害時要援護者支援を見直し、高齢、障害、児童といった、サービス種別を超えた連携についても検討を進めていければと考えています。

あわせて、昨年度実施した、「東日本大震災仮設住宅サポートセンターの実態調査」と「災害時要援護者の広域支援体制の検討と基盤づくり」のご報告をさせていただきます。

災害から災害時要援護者を守るためには、さまざまな分野のお力と連携が不可欠です。是非この機会にご参加いただきますと共に、多くの方にお声かけいただきますよう、よろしく願いいたします。

はじめに 小山 剛（災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード代表理事）

講演 「地域福祉を支えるために」（仮題）

有賀 絵理（茨城大学地域総合研究所客員研究員・非常勤講師）

報告Ⅰ 平成24年度老人保健健康増進等事業「東日本大震災仮設住宅サポートセンターの実態調査」

報告Ⅱ 平成24年度社会福祉推進事業「災害時要援護者の広域支援体制の検討と基盤づくり」

<定員> 80名（定員になり次第締め切らせていただきます）

<参加費> 5,000円（会員4,000円）／ 交流意見交換会参加者は別途5,000円
※ キャンセルは3日前までをお願いします。その後は参加費をご負担いただきます。

<申込方法> 以下の参加申込書にご記入の上、メールもしくはファックスでご返信ください。
※ お申込みを確認次第、参加票をお送りさせていただきます。参加票が届かない場合は、通信のトラブル等も考えられますので、お手数ですが企画室までご連絡をお願いいたします。

第13回研修フォーラム 参加申込書

ご氏名・ご所属	ご連絡先	フォーラム	交流会
ご氏名	(〒)	参加	参加
ご所属	TEL FAX MAIL	不参加	不参加

認定特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード 企画室
〒110-0001 東京都台東区谷中3-6-16 大輪ビル3階B室 TEL:03-5832-9943 FAX:03-5832-9964
MAIL: thb001@thunderbird-net.jp

○印をおつけください